

校長室だより

8月号②

前回の校長室だよりで、「つばくろの家」について紹介しました。5・6年の保護者のみなさんには、学年部会や参加申込の際に詳細についてお伝えしていますが、大切な学校行事なので他の学年の保護者のみなさんにもう少し詳しく紹介いたします。西麻植小学校の卒業生のみなさんは実際に参加したこともあり、ご理解いただいていると思いますが、本年度の取組についても紹介いたします。

つばくろの家って



【名前について】

「つばくろ」とは、ツバメのことです。民家の軒下に巣をつくって幼鳥を育てます。親鳥がえさを運ぶと順序よく規則正しくえさを食べて育ち、成長して巣立つ時には、仲間が集まり仲良くそろって南方へと渡っていきます。しかし、大海原を渡るのは大変です。嵐や強風の中を方向も誤らず飛び続け、目的地に達するのです。

この「つばくろ」のように困難に負けず、仲間とともに差別に打ち勝ち、それを解消していく強い子どもになってほしいという願いが、「つばくろの家」の名前には、込められています。

【歴史について】

- 1971年：このような地域の思いを小学校が受け、隣保館運営委員会や臨時の保護者会で「つばくろの家」の目的と計画を説明し、賛同を得る。「つばくろの家」は、当初隣保館（現在の西麻植会館）で、一部の地域の子どもが参加していたが、その充実した内容や成果から、近隣の保護者からも参加させたいという要望があがる。
- 1972年：近隣の2つの地区の子どもたちが「つばくろの家」に参加する。これをきっかけに、参加を望む声が校区全域に広がりを見せる。
- 1980年：西麻植小学校の全校区の子どもに参加希望をとって実施するようになる。毎年、ほぼ全員が参加するようになってきた。

このような記録が残っています。現在では、5・6年生に、「つばくろの家」の意義を説明し、参加希望を取って実施しています。48年続いている伝統あるこの取組には、ほぼ全員が参加しています。子どもたちは、「つばくろの家」への参加を楽しみにしており、本校教育の基盤としている仲間づくりにも大きな成果を生み出しています。

一昨年度より、2回目の「つばくろの家」は、2学期の授業日の3時間目から5時間目にかけて、学年全員で夏休み中に実施した西麻植教育集会所に出向き、行っています。2回目は、少人数でなく、学級全員で人権や自分たちの生活について話し合っています。

【内容・日程について】

1日目

18:00	西麻植教育集会所集合
18:00~18:20	つばくろの家の誓い
18:20~18:30	人権学習会意義指導
18:30~18:40	係活動（清掃班、炊事班）
18:40~20:00	夕食準備・夕食・後片付け
20:00~21:00	人権学習
21:00~22:00	レクレーション
22:00~22:20	就寝準備（22:20就寝）

2日目

6:00	起床・荷物の整頓
6:10~6:25	清掃・感想の記入
6:30~6:40	ラジオ体操
	解散

子どもの指導については、本校職員2名があたり、人権学習時には、管理職も参加しています。また、講師として、地域の方、保護者に毎回2名ずつ協力いただいています。

